

今年もインフルエンザ流行が各地で始まった

高齢者のインフルエンザ死亡率は全体平均の30倍大阪大学医学部附属病院が発表した資料によれば、高齢者は入院率や重症化率、そして死亡率が高いとされています。特に、70歳以上の高齢者となるとその死亡率は0.03%となり、全体を通した平均である0.001%の30倍近い死亡率になるとされているのです。そもそもインフルエンザとは、インフルエンザウイルスを病原とする呼吸器の感染症です。風邪と似たような症状が出ますが、風邪に比べると重症化しやすいのがその特徴です。

高齢者がこのインフルエンザに罹った場合、免疫力が低いことでインフルエンザそのものの症状も重くなりやすいうえ持病や、ほかのウイルスを原因とした肺炎などの合併症を引き起こす可能性も高くなることから、重症化や死亡のリスクが大きくなっています。高齢者のインフルエンザ感染のリスクを考え、事前の予防対策を徹底することが大切です。

このようなリスクを踏まえ、当施設では感染対策を全職員に対して解りやすくより徹底しやすいように毎年マニュアルを改善していったものを今回もしっかりと受け継ぎ実践をしていきました。スタッフの体調はもとより、その家族の発熱や不調が見られた時、いち早く療養部長へ連絡し指示を仰ぎ、インフルエンザと診断があれば、スタッフには予防投与としてタミフルの処方を行いました。まず、入所利用者様に1名もインフルエンザの発症がみられなかった事が一番の成果でした。風邪症候群に対しても棟での隔離を行い、職員の手洗い消毒、マスク使用を義務化し、時間毎の換気、面会者への呼びかけなど、各フロア、全職員が意識して行いました。これからも利用者様一人一人が健康に過せる施設として努力していきたいと思います。

感染対策委員会 阪井陽子

《訪問リハビリを開始して》

新緑がまぶしい季節となりました今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

介護老人保健施設うららでは、「地域の皆様が自分らしく生きるために心のこもった医療と介護で応援します」の理念に基づき、地域包括ケアの一端を担う目的で平成30年4月より指定訪問リハビリテーションを開始し、地域の皆様にご利用いただいております。

訪問リハビリとは、在宅で療養しており、通所・通院してのリハビリテーションを受けることが困難な利用者様に対して理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がご自宅へ訪問して、リハビリテーションを行うサービスです。

利用者様へのリハビリのみならず、家族様との情報共有や、福祉用具・自助具の使用法、住宅改修のアドバイスなどを行いながら、在宅生活の改善や社会参加へのお手伝いをさせていただくものと考えております。

在宅におられるご利用者様、またそれを応援する家族様が少しでも安心で、自分らしい生活が出来ますよう、これからも訪問リハビリテーションを提供していきたいと思っております。

《訪問リハビリを1年間実施させていただいた各スタッフからの一言》

「家族様に『できること』を見てもらい、一緒に喜べること。そうすると、本人のよろこびにつながる。それが目の当たりにできること。」

「実際の生活の場で行うので具体的な訓練ができて良いです。1週間に一度気分転換にもなります。」

「施設内で行うリハビリと違い、実際の生活場面で活動を中心に行なっています。家族様にも直に能力を見てもらえるので、すぐに実生活に活かしています。そこが訪問リハビリの楽しさと魅力だと思います。」

「寝たきりや閉じこもりに対して最初の窓口になるのが訪問リハビリです。外の風を送り込んであげられること、技術やノウハウである程度の生活改善を提供できることが役割です。ただし、時間や内容的には限界があるので改善は機能面にとどまります。活動や参加の面での改善を進めるには、次のサービスへバトンタッチしていくことも必要ではないでしょうか『生きている』と感じるのは自分のことを自分でできることの場合もあるけど、人とつながったり役割を持つときにも感じると思います。」

リハビリテーション科 岸本直人

～編集後記～

4月になりました。新生活の始まりですね。この時期は歓送迎会やお花見など、飲む機会が増えると思います。ビールで乾杯♪なんて、あちこちで見受けられそうですね。そんなビールですが・・・。ビンの蓋の王冠の「ギザギザ」。いくつあるかご存知ですか??なんと、21!!これはほぼ、どの王冠もそうらしいですよ。炭酸ガスや液体が漏れないように強く、でも、誰でも開けられるように研究を重ねた結果、21になったそうです。

今度、数えてみてくださいね。酔っぱらう前に(笑)

広報委員 林田和美

私が旅先で飲んだ
大好きなビール♪



うららだより 59号

発行日 平成31年4月1日

●発行者 山本 正博

●編集者 広報委員会



医療法人社団康明会 介護老人保健施設うらら

〒651-1603 神戸市北区淡河町淡河 5 7 4

TEL 078-950-5177 FAX 078-950-5188

URL: <http://www.roken-urara.jp>



私たちは
地域のみなさまが
自分らしく生きるために
心のこもった医療と介護で
応援します。

レスパイトケアのご利用のご案内

★こんなお悩みは無いですか？

＊介護疲れがあるので、息抜きがしたい ＊病気になってしまった ＊出産を控えているの
＊旅行に行きたいけど、介護があるし・・・無理かなあ ＊冠婚葬祭があるの などなど

★レスパイトケアとは・・・

『一時休止』『休息』『息抜き』という意味です。

『レスパイトケア』は、在宅ケアをされている家族の方が一時的に不在になる場合や、休養が必要な時に利用可能なサービスです。

★こういった場合に、当施設のショートステイが利用できます！

※ 担当のケアマネージャと連携します。

【ご費用】

介護保険適用 (お持ちの負担割証により費用が異なります)

どうぞお気軽にお問合せ下さい。

介護老人保健施設うらら 相談室 (078) 950-5177 (月～土曜日 8:45～17:15)

デイケア お正月の出来事！



一週間をかけ、希望者を対象に淡河八幡宮神社に初詣に行ってきました。思い思いの願いを込めてこの一年願い事を祈願してきました。

なかなか難しいですよえ～
でもベッピンさんですよ？

書初め！福が来たら良いですよ～



デイケア 節分豆まきイベント



鬼は外！福は内！
楽しげな声の先に居るのは鬼にふんしたスタッフです。利用者様が投げているのは豆でなく紅白の玉です。逃げ返る鬼が持っている籠を狙って玉を入れていきます。童心に帰ってとても楽しげな笑顔が満開でした。

デイケア 介護士 辻本浩美



2階 ビンゴゲーム

2月3日(日)2階にて「2月の誕生日会」を開催しました。お誕生会の出し物でビンゴゲームを行い色々な景品を準備をして、多数の利用者様が楽しく参加されていました。

2階介護士 北口雅博

2階 誕生日会 (二人羽織)

3月の誕生日会は、ひな祭りに因んで2人羽織や目隠しをして物を当てるゲームなどをしました。

2人羽織では激辛ラーメンを使用し、食べた職員は、とても辛そうでしたが、日頃からのチームワークで上手に食べていました。皆さん笑顔で、とても楽しい誕生日会となりました。

2階介護士 船橋 圭



デイケア「しまばな」様がやってきました！



撥さばきがスゴイ



3月のイベント行事に『しまばな』様が来られました。軽妙に響きわたる太鼓の音に思わず『イヨッ、女無松！！』と声掛けたくなるほど、かっこよかったですよ！(^^)！と思いきや、今度は雰囲気も一変して、ウクレレの伴奏で春の歌を利用者様も一緒にくちずさみました。最後はフラダンスをみてデイはみんな、『気分はハワイ』です。「アロハ～」と声掛け合って、しまばな様と一緒に踊って、楽しいひと時でした。

デイケア 介護士 石野五月



カッコイイ～。



アロハ～

3階 ハンド・フットマッサージ



3階認知症専門では、カイロプラクティックとアロマコーディネーターの資格を有している職員が在職しています。週1回程度ですが、レクリエーションを兼ねたマッサージを行っています。利用者様とコミュニケーションを図りながら心も体も和んで頂けたらと思っています。

高齢者は年齢を重ねていくと、どうしても血行が悪くなり手や足の指先が冷たくなり色が悪くなってしまい、浮腫みもでてきてしまう事は多くあります。マッサージをすることにより、血の巡りを良くし、浮腫みや冷感などを改善できれば快適に過ごして頂けるのではと考えます。ほとんどの利用者様が施術が終わった後、「すごく気持ち良かった、ありがとう」と笑顔を見せてくれます。利用者様の笑顔が私達にとっての元気の源です。

3階介護士 松島広子

♪ 陶芸教室 ♪

3ヶ月に1回開催しています。1人1人が自分の思うお皿などを一生懸命に作成されていました。作成している間見学させて頂きましたが、性格や個性がすごく出る物だと思いました。普段見られない真剣な顔もみれ、次回機会があれば自分も参加してみたいなと思いました。作品が焼き上がるのが待ち遠しいです。

3階介護士 佐藤 譲

